

シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669



前年度会員数 二四三名
本年度会員数 二八六名

第十三回(二、三、二九)
通常総会
会場 江戸川台福祉会館

新会長あいさつ



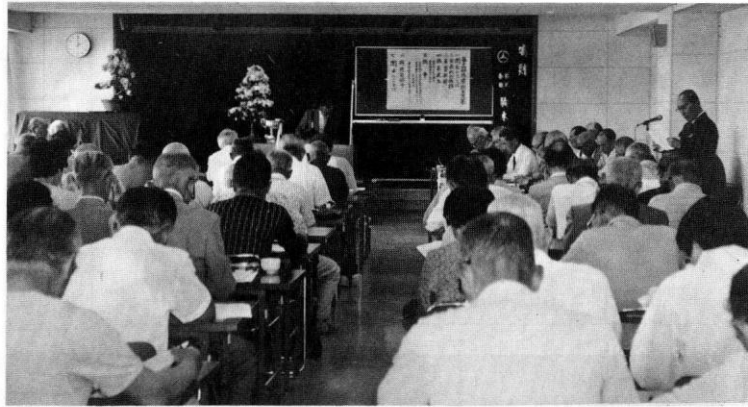
及川 正一

会員の皆様日々の御支援と御協力を賜りまして誠に有り難うございます。ここで今回発行の会報第九号に先行明るい当シルバー人材センターのニュースとして御報告出来まことを喜びとしております。故人となられました三代清水四代権名両会長の遺志を引き継ぎ会員増に取り組んで参りましたが三百名突破の壁は予想外に厚く容易ではありませんでした。その壁を九月末で達成出来、現在十月中旬では三百拾余名となりました。これもひとえに皆様方の会員増に対し絶大なる御支援御協力あつての結果だと深く感謝申し上げます。尚今後とも健康に留意し安全就業に万全を期し、契約高一億円超完全達成

を目ざして就業率の向上を計り乍ら会員一同一丸となって頑張ろうではありませんか。お願いいたします。現状維持は必ず衰退に継がります。一歩でも二歩でも前進し次は会員数三百五十名契約高一億五千万円とランク上位を実現させましょう。現在のシルバー人材センターが存在するのも其の生みの親とも云える元東大教授故大河内一男先生の理念としていわれております自主、自立、共働、共助を心に秘めて生き甲斐の糧としたものです。今迄の長い間に培った我々の宝を少しでも社会にご奉公出来る機会を逃してはなりません。

私は会員皆様より大役を仰せ付かった時決意しました以上的一端を述べさせて戴きました。今後共一層の御指導御鞭撻の程宜しくお願いいたします。

第十四回(二、五、三〇) 二、五、三〇
通常総会



(1) 前年度事業実績について
会員自らの生きがいの充実
と社会参加により健康と

福祉の向上に寄与すること
を基本方針に事業の推進に
努めて参りました。
市当局並びに関係機関のご
指導、市民のご理解と市内
事業のご協力及び会員の誠
意ある就労の結果、事業実
績は予想を上回り予算に対
し約十七%増、受託件数は
公共三二八件、民間が一三
三六件の計一六六四件でし
た。就労人員は三八三八人
月平均三二〇人、延人員三
〇三九六人、就労率七八%
でした。
(2) 新役員大幅に代る
理事及び監事の任期満了に
伴い、役員選考委員会によ
り地域に限定せず全地域か
ら推せん一八名中一五名が
新人となり、女性会員の意
見の反映と活動を期待し二
名の女性理事が選出されま
した。及川正一新会長を中
心に課せられた職責を全う
できうる会員始め関係各位

のご支援とご協力を期待し
ております。
(3) 互助会の設立
社シルバー人材センターの
公的な組織活動と切り離し
会員相互扶助の所謂私的な
面を運営するために互助会
が設立されました。
協力
市福祉部長 青野 直
我が国は、世界最長寿命と
なり、来るべき二十一世紀に
は国民の約四人に一人が六十
五歳以上という高齢化社会を
迎えようとしています。国や
地方公共団体においては、こ
のような高齢化社会を健康で且
つ生きがいをもち、安心して
生涯を過ごせる明るい活力あ
る長寿、福祉社会とすること
が大きな任務と課題である
としておりますが、現在、老齡
人口比率の比較的小さい流山
市の福祉行政を担う者として
も全く同様でございます。

このような社会環境の中で「き
ちんとした就職は望まないと
働く機会を得たい」「社会に
役立つ仕事をしたい」「持ち
合せた特技や技術を生かして
みたい」「仕事を持つことで
自己の健康管理等に役立てた
い」等々、健康で働く意欲の
ある高齢者のための組織とし
て「シルバー人材センター」
の果す役割は大きいものと考
えますし、高齢化社会の要請
に因應するうえですます大き
な意義を有することは今更私
がいうまでもございませぬが
「流山市シルバー人材センタ
ー」においては着実にその実
績と成果をあげつつあること
は、喜しいことでございます。
しかし、私達の周辺には、
健康で且つ知識や技術等を持
ち、まだまだ社会の中で活躍
できる方々も沢山いらっしゃ
るのではないかと思われまし
すし、平均寿命が伸展している
現在、これらの方々がそれぞ

れの才能を生かし、まずは自分自身の活力ある生きがい対策のためにお互いに協力できる社会風土とすることも必要であろうと考えます。

いづれにいたしましても、高齢化社会が急速に進む中で国や県が打ち出している老人福祉対策のそれぞれの事業の中で保健、福祉の基盤整備を図る一方、高齢者の就業機会の開発事業にも積極的な取り組みを期待するところであり、市の福祉的サイドからも、協力とバックアップをして参りたいと考えるところでございます。

就任にあたって

事務局長 増田 芳男
(社)シルバー人材センターの会員の皆様には常日頃ご健勝にて活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび七月一日付をもって事務局長に就任いたしました。

高齢化社会の急速な進行の中で、会員の皆様が進んで社会参加をし働くことに生きがいを感じつつ、長い人生経験と知識、技能を社会に還元し積極的な生き方を求めていくことはすばらしいことと思います。

センターの目的に基づく就業機会の確保、運営体制の強化、また福祉の向上、さらには組織の拡大を図るために、皆様方のご協力を戴きながら「就業可能会員の増強」等微力ではありますが努力していきたいと存じます。

どうか役員各位を始めとして会員の皆様の暖かいご指導とご協力を切にお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

婦人部の活動について

理事 青木 長子

私は今年(平成二年度)の新役員理事として思いがけなく推薦されました。現在の高

齢化社会では女性が圧倒的に多いのに当人材センターでは女性会員が非常に少ない現実です。女性でなければ出来ない作業も多く、女性会員の増員を切に希望するものです。

十数年前に第二の故郷、流山に居を構え見知らぬ土地で、孤独の毎日でしたが、すすめられて予備知識も自信もないまゝ、入会いたしました。何の経験もない私はおそらく除草作業に従事いたしておりました。何回かやっておりますうちに指名でお声が掛るようになり、そんな時は大変嬉しく作業のつらさも忘れてしまい、人の為、世の為にお役に立っていると云う自負心を持ち、幸い健康には恵まれておりますので、まだまだ続ける覚悟しておりますが、自分だけの自由な時間も大事にしたいと思っており、人材センターで得たすばらしい友との交流も大事にし、将来への楽し

みを残すよう、今後も頑張りたいと存じます。ご協力下さいますようお願いいたします。

行政関係者

打合せ会議

四月二十五日事務局で行政関係者の打合せ会議がありました。日常業務活動に於ける諸問題についての貴重な意見交換、連絡事項の発言、応答があり、有意義な会合でした。

出席者(略敬称)

市側青野福祉部次長、中村課長補佐、三上福祉会館館長、戸部交通安全課長、佐藤社会体育課長、関係係長。

及川会長代行、柳沢事務局長、山田事務局長、公共業務担当職場責任者。



(会長代行)ご多忙中のところ

行政側の夫々の責任者の出席のもとで公共業務を担当している皆さんの体験からの貴重な意見や要望等をこの機会に発言して頂き度いと思います。

(館長) 備品等の数量の把握、館内外の巡回、事故時の速やかな連絡等について協力願いたい。

(局長) 各館とも備品調査表を作成して把握して下さい。

(館長) 月初めの使用申請の処理については次の通りにして下さい。

①一団体につき一ヶ月二回を原則とする。

②重複して調整がつかない時は抽せんにする。

南流山は利用者が多く重複もありますが、大広間の中仕切を検討して欲しい。外部からの侵入という点から非常階段の出入口の道路側に柵を設けてはどうか。

野球場、テニスコートの管理面から①子供連れの怪我、

②大型犬を連れての利用、③更衣室着換え時間等について検討して貰いたい。

(佐藤課長) ①掲示による注意②管理人の勤務時間については契約内容などで別途シルバー人材センターと検討したい。

河川敷の水道使用については洗車など防ぎようがない。(佐藤課長) 柵もできないので注意する以外にないでしょう。

畳の補習について(館長) 予算化して逐次畳の補修は実施します。

水道検針業務は降雪時や風雨時の出勤は安全面から検討して欲しい。

自転車放置の対策について(戸部課長) 審議会で検討中であるので平成三年には方針が決まると考えています。

運河駅は休憩所もなく場所も狭く、早朝悪天候等の面から報酬も安いのではないか。

(戸部課長) 来年以降の検討課題である。

南流山駅は①駐車場が遠く対応ができない。②公園が歩けないようになる。③自転車移動班は別に編制して欲しい。

(戸部課長) 人員についてはシルバー内で検討して貰いたい。強制移動は条例によらねばできない。

(戸部課長) ①高校生の駐輪は民間でやって貰うよう努力したい。

②初石駅場所が狭いので高架式にしてはどうか。

(戸部課長) 借地であり、東武も困難だ。鰯ヶ崎は新駐輪場の舗装はできないか。

(戸部課長) 検討します。(局長) 時間もきたのでこれで本日は終了としますが、年二回位はこの種の会合を持つようにしましょう。

◎業務より就業については、安全第一

として又日頃の健康管理に気をつけて豊かな人生を過ごす様子を付けましょう。

理事会議 (報告)

◎第一回五月二十一日(月)

(1) 会長・副会長の決定

新会長に及川正一、新副会長に麻生修を互選により決定した。

(2) 顧問委嘱について

定款第二七条三項により前理事名越輝彦、金子佐郷、前監事穴倉安三郎の各氏を会長推せん通り委嘱する。

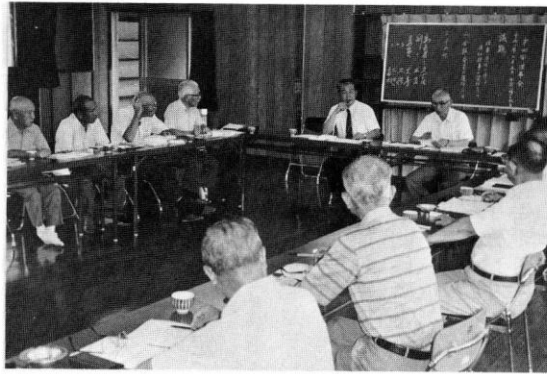
(3) 専門部会の編成について

総務部会、業務部会夫々六名で編成し、婦人理事二名は女性の立場からの意見が反映するよう出席する。

(4) 互助会発足について

前年度理事会の経過を確認し、総会提案することに決定した。

(5) 地区連絡員の編成について事務局業務に編成を依頼し



次回にて確認する。

◎ 第二回六月十一日(月)

(1) 地区連絡員の選任

事務局案通り決定した。

(2) 会員の増員対策について

会長より今年目標達成の

ために役員率先して会員の

入会促進、特に女性会員の

入会に努力するよう要請さ

れた。

(3) 事務局長より全シ協の指導

方針として人材センターの

PR、組織の確立、会員増

就業率の向上、受注事務の

適正化、安全就業、事務局

体制の強化、補助金の適正

使用等について報告あり、

時代の変化に対応しての理

事の役割、就業率のアップ、

受注の契約方式切替等事務

処理の改善について説明が

あった。

◎ 第三回七月二十三日(月)

(1) 職群懇談会開催について

別表の通り五職群に分けて

八月下旬に開催することを

決定。

(2) 会報編集委員の選任

麻生副会長より早急に選任

し会報発行準備に入るよう

提議され、次回にて決定す

ることになる。

◎ 第四回九月五日(水)

(1) 会報編集委員は理事より四

名、会員より女性二名の六

名を選任し、早急に発行準

備にかかることを決定した。

(2) 研修旅行について

互助会案通り第一班九月十

六日、十七日、第二班九月

二十六日、二十七日草津方

面に決定した。

地区懇談会報告

会長、副会長、事務局長、以

下関係者出席の下次の日程に

より開催した。

七月一日(月) 江戸川台福祉

会館(一、二、三、四区)

七月九日(月) 南流山福祉会
館(七、九、十区)

七月十日(火) シルバー人材
センター(五、六、八区)

地区懇談会の経過について主
な意見として提起された点を
概要次の通り報告します。

。駐車場台数が増加しても単

価は変更とならないか。

。草刈り清掃の手配をしてい

る者に対する責任手当はな

いのか。

。作業所の単価は検討の余地

はないのか。

。駐輪場区域の再検討が必要

ではないか。

。仕事の開拓には、組織を利

用してはどうか。

。流山駅西口駐輪場の舗装は

できないか、地権者の立場

もあるが検討して欲しい。

。歩道上の駐車は市によって

排除しているが、当市でも

看板を立て注意を呼びかけ

てはどうか。

。草刈り機等の整備は現場に

部品がなくてはならない。
 。駐輪場が狭く、公園の中ま
 で一杯になり歩く余地もな
 いその対応はどうか。
 。地区連絡員に一般会員の名
 簿が必要ではないか。会員
 名簿は地区別に整理した方
 が便利ではないか。
 。互助会規則の中に表彰規定
 など入れられないか。

職群懇談会

八月下旬(別表)通り実施し
 た。及川会長以下関係者と市
 より三上館長が出席され、職
 群(福祉会館、マンション関
 係)の一部を報告すると次の
 通りです。

(会長) 職群別の懇談会は初
 めての試みであり、市側三上
 館長も出席されておりますの
 で活発な発言を期待します。
 (館長) 新設の平和台会館を
 含めて十四の福祉会館となる
 市民サービスという観点から
 皆さんのご協力をお願いした

い。予算編成時期であるので、
 会館関係の補修、備品、消耗
 品等について要求して下さい。
 会館勤務見習の時の配分金
 は出せないか。
 (館長) 作業日報を提出して
 下さい。支給します。
 マンション等施設の管理者
 は人物の適否などよく見て選
 定する必要がある。

(館長) 夜間の利用時間の一
 時間の延長、年末年始を除き
 月曜、祭日の利用はできない
 か検討して欲しい。
 年末年始休日以外年間休館
 無しの態勢は問題だ。会員は
 老令者であり、現在の勤務態
 形を変更することは困難であ
 る。特別な場合は検討の余地
 はあると思うが。

(会長) 現状の勤務態形の変
 更は難しいのではないか。冬
 季夜間など安全面からも。
 (会長) ①会員増については
 九月下旬までに是非とも三〇
 〇名を突破させ、受注業務を

完全消化したいので協力を願
 いたい。③入退院、事故等に
 ついては都度報告して欲しい。
 ④会館周辺の除草など勤務の
 合間をみて心掛けて貰いたい。



職群別懇談会日程

日 時	場 所	職 群 別
8月20日(月) 10:00~11:30	シルバー人材センター 二階会議室	大工、塗装、襖、障子、 畳業務の方
8月20日(月) 13:30~15:30	同 上	植木、除草、屋外清掃 業務の方
8月21日(火) 10:00~11:30	同 上	
8月22日(水) 13:30~15:30	同 上	マンション、福祉会館 その施設管理業務の方
8月23日(木) 13:30~15:30	平和台福祉会館	同 上
8月24日(金) 13:30~15:30	シルバー人材センター 二階会議室	自転車整理の方
8月29日(水) 13:30~15:30	平和台福祉会館	同 上



職群懇談会風景

社流山市シルバー人材センター

会員互助会の発足について

互助会副会長

犬養 吉胤

当互助会の発足につきまして
は平成二年度の社流山市シル
バー人材センター総会五月三
十日に可決を得て七月二十三
日理事会にて種々審議を致し
社流山市シルバー人材センタ
ー会員互助会会則を会員の皆
様に送付申し上げました次第
です。

主な審議内容ですが、
(一)会費の年額について総会
では一〇〇〇円程度と話してあり
ましたが年度途中での入会者
は月割で行うため計算が簡易
な月額一〇〇円年額一二〇〇
円と致しました。
(二)死亡病気災害等の弔慰金・
見舞金だけに止まらず米寿喜
寿等の祝金にも支給したらど
うかとの意見に対し年一二〇
〇円会費では運営が困難との

意見で今後の運営状況により
検討課題と致しました。

(三)研修旅行の補助金が他市の
シルバーより高額であり今後
会員の理解と協力を求めて引
き下げを図りその分互助会の
福利厚生を拡大を図る様にす
る。

四本年度の互助会の会費は五
月三十日発足のため今年度分
一〇〇〇円の一〇月分で七月
以降の入会者は月割となりま
す。

今後は互助会も健康で明るく
働く喜びと生きがいのため会
員の交流と合せて健康管理等
明年度より皆様の御協力で健
康講座等も計画して自主自立
共働共助をモットーにして意
義のある互助会に進めたいと
考えております。
重ねてご協力の程お願い致し
ます。

物故者

中里 武夫(男)

山下 岩次郎(男)
折笠 竹治(男)
星野 芳夫(男)
塩 沢 秀明(男)
謹んでご冥福をお祈り申し上
げます。

草津旅行記

加瀬 豊春

今年から互助会の主催とな
ったシルバー人材センター恒
例の研修旅行第一班に参加す
る。

九月十七日、くもり時々雨、
千葉中央バスは参加者三十六
名を乗せて江戸川台西口を出
発、柏ICから常盤自動車道
に入る。秋雨前線の停滞で曇
っていた空は三郷に近づく頃
から強い雨となる。外が雨な
ら体の中にもおしめりを、と
いうわけで飲物が配られ、バ
スが東北自動車道に入る頃に
はもう渡辺添乗員の名司会で
カラオケ大会は最高調、桐生

織物センターで昼食のあと前
橋―渋川―伊香保とバスは初
秋の上州路を西にひた走る。
残念乍ら信越の山々は雲に隠
れて見えない。ハルナ硝子工
場見学の後バスはいよいよ山
路に入る。外の景色は霧で総
ての色を消して薄墨色只一色、
霧の濃淡がその水墨画の明る
さを僅かに変化させる。

五時、上信越高原国立公園
草津温泉、ホテル桜井に到着
奈良の名僧行基菩薩によって
開かれたと伝えられるこの温
泉は明治初期に來日したドイ
ツのベルツ博士により欧州に
も紹介された名湯、惚れた病
気以外万病に効くそう、そ
の名湯に汗を洗い流して宴会
は花吹雪の間、及川会長、増
田事務局長の挨拶に続き久下
沼互助会長の挨拶(代読)が
あり、あとはまた昼に負けな
い演芸大会になる。十八歳未
満入場お断わりのお色気超過
剰な唄と踊りには満場大爆笑。

池湧会員のガマの油を最後に宴会終了。あと各々のグループ毎の部屋で歓談に夜の更けるのを忘れる。

翌十八日、くもり後晴れ、朝、ホテルの窓から霧の向うに高層ビルのシルエットがいくつも見える。ホテルのメイドさんに聞いたら、これは全室温泉つきのリゾートマンションで、地元ではこのマンションブームに賛否の意見が対立しているとか、旅の客にとっては昔の「湯の町」の面影が消えていくのは淋しい。

九時、ホテルを出発、外は相変らずの霧だ。浅間温泉酒造工場見学のと十時三十分、鬼押出し園着。

天明三年の浅間山大爆発で吹き出した溶岩の凝縮で出来た奇岩怪石の岩山、激しかった大噴火が想像され鬼気迫る岩山を流れる霧が一層舞台効果を高めて、SF映画の場面を見ているようだ。晴天なら

その全貌を見せる筈の浅間山は霧に姿を隠し、カメラを持つ人達をがっかりさせる。一時間の自由行動のあと帰路を軽井沢に向ける。非肉なことに出発するとすぐ空はすっかり晴れて妙義山がその奇峰をバスの前方にあらわす。横川のドライブインで釜飯の昼食のあと峠路にさよなら、関越



自動車道に向う。今日のバスの中は皆さん静かだ。昨日の疲れですやすやお寝んねが多い。加須から東北自動車道に入りあとは昨日のコースを逆に進み五時三十分、流山帰着。

親睦の目的を十分に果たして楽しい研修の旅を終える。企画実行、乗務された皆さんに感謝します。

研修旅行に参加して

女性一同

私達は鳥海さんの車に乗せて頂き初石地区の集合場所に、お天気が心配でしたが、皆の精進がよいから天候に恵まれ高速道路に入り、バスの中も可愛いガイドさんの案内で順調に、最初の棒名ガラス工場に着き、素的なガラス製品の作り方や真赤になったガラスを口で吹きながら女の方や若い人が芸術的な製品を見る間

に作っていく姿には感動しました。紅葉にはまだ早かったけれど山々に囲まれた景色の良かったこと、ホテルの大きな湯舟につかりながら健康の有難さを楽しみ感じ、シルバーセンターの皆様のごまとう行き届いた心配り、年寄りのお世話下さるということとは大変だとあらためて感謝しました。宴会では局長さん、石山さんなどカラオケでお上手で感心しませていただきました。女性軍は青木さんが奮闘してくれました。私達も来年までに何か一つ覚えて歌ってみたいと思えました。同じ世代の方々なので戦争当時のことなど色々な思出話で時間の過ぎるのも忘れてしまいました。翌日は雨でしたが皆さんの顔は晴れ晴れとして元気でした。車内でのビンゴゲームも楽しく思い出に残る旅行でした。

事務局紹介



前列右より
 渡辺キミ子 石田千津子
 中山百合子 田村順三郎
 渡辺 四郎 増田 局長
 芳野 所長 石山 文男

局長 増田 芳男
 事務局全般

業務 渡辺 四郎
 民間の受、発注
 見積作成

業務 石山 文男
 民間の作業日報整理
 会員の就業相談

業務 田村順三郎
 公共全般(含む日報)

庶務 渡辺キミ子
 経理、給与、配分金計算

庶務 中山百合子
 事務全般、互助会事務

勤総関係
 勤労者総合福祉センター
 所長 芳野 芳矩
 事務全般 石田千津子

勤総福祉センターの

運営管理の受託

この十一月二十日に落成式を行った、当センターは延床面積一九二八平方米、体育施設(バスケットボール、バレーボール、バドミントン等)、和室二室(各十五畳)等を有し、利用者への施設の貸出し等の運営管理をシルバー人材センター会員が常駐し行うことになりました。なお、来年八月にプール設備等のB型が開設する予定になっております。

所在地 大畔二五〇一七

事務局便り

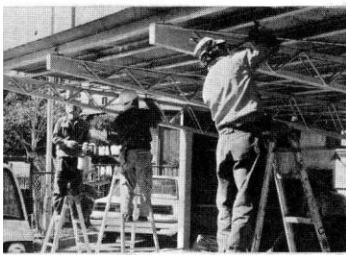
(1) 配分金の支払について

従来は千葉銀行のみの取扱いで口座振替を行って来ましたが、十二月より郵便局も取扱うことになりました。事故防止、事務局の事務軽

減を図るため、是非利用されるよう申し出て下さい。

(2) 作業日報の提出について
 作業日報は毎月末締切りで会員の皆様から提出して貰い、これを計算し、発注者に請求し、配分金の支払は原則として十五日に行っておりますので、月初の四日までに必着するようにお願いいたします。遅れますと翌月の支払になりますのでご注意ください。尚印鑑洩れ、特に二枚目の印鑑が洩れないように留意して下さい。

職群の活動風景



平成2年度 シルバー人材センター年度別契約額表

月別	昭和62年度		昭和63年度		平成元年度		平成2年度	
	件数	契約金額	件数	契約金額	件数	契約金額	件数	契約金額
4	93	5,678,419	109	5,571,913	89	5,180,407	144	7,637,435
5	95	4,467,400	117	5,271,225	118	5,455,495	151	8,367,288
6	152	5,969,404	101	5,705,801	173	7,333,690	196	9,524,959
7	149	5,909,396	119	5,733,927	177	7,542,158	207	8,952,809
8	123	5,164,272	116	4,992,367	148	7,608,714	146	9,328,752
9	125	4,632,092	119	5,256,511	168	7,281,255	171	8,474,694
10	137	5,854,044	159	6,622,956	178	7,819,107	198	9,704,882
11	136	5,532,593	135	5,831,061	167	6,978,587		
12	113	4,930,012	129	5,391,779	138	6,119,011		
1	84	4,309,350	73	4,133,128	86	4,735,107		
2	88	4,806,757	73	4,635,561	101	4,918,449		
3	90	5,230,445	79	5,345,752	121	8,253,405		
	1,385	62,484,184	1,329	64,491,981	1,664	79,225,430		

役職名	氏名	住所	電話番号	担当
会長	及川 正一	江戸川台西一八五	五二一〇二二三	三地区
副会長	麻生 修	江戸川台西二二一	五二一〇二四九	
理事	會沢 義正	江戸川台東一五五	五五一三五二一	
	岩瀬 茂	東深井九八〇一六	五五一三五二五	
	鳥海 勇	駒木台四七五一一二	五二一〇五八九	
	武藤 孝助	西初石五八一一九	五二一五二七五	
	三谷 和夫	東初石四一四一五二	五二一八五三一	
	高橋 忠文	加一三一六一一	五八一〇八八四	
	岡村 三郎	駒木三二五二七	五五二〇三二〇	
	久下沼 満	南流山一八一三三〇三	五九一八九一五	
	鶴丸貴美男	松ヶ丘五二六六四一三	四四一六四二七	
	合津 一	富士見合一三三三五	五四一四八四一	自転車整理
	犬養 吉胤	江戸川台西一四七	五四一六四四三	植木・除草
	杉山 義弘	西初石三一三一	五二一四六五八	大工
	青木 長子	駒木台四一〇二六	五二一八〇一〇	婦人部
	生田 艶子	駒木台四〇〇二二〇	五四一九三六九	
	前田 近徳	若葉台三三三四	五四一四一八六	
	牧野 秀夫	十太夫一〇〇一六	五五二二八三二	
	名越 輝彦	西初石四一四一一五	五三二二八一八	
	金子 佐郷	向小金三一四五一一〇	七四一三五一九	
	穴倉安三郎	江戸川台西一一九五	五二一四五一	

（社）流山市シルバー人材センター役員名簿

喜びのお知らせ
 会員目標三〇〇名を突破しました。
 十月現在
 男 二一九名
 女 九二名



地区連絡員名簿

地区	理事名	連絡員氏名	電話番号	担当地区
1	會 沢 55-3521	吉 田 貞 次	54-8632	深井新田、平方村新田、西深井
		白 川 源之進	52-7784	平方原新田、平方
2	岩 瀬 55-3525	五十君 利	52-3697	東深井
		渡 辺 政治郎	53-0492	こうのす台
3	麻 生 52-0249	宇留野 馨	54-7478	江戸川台西1～2
		鈴 木 鶴一三	54-2690	江戸川台西3～4、富士見台(全域)、北、小屋、上新宿新田
4	鳥 海 52-0589	鈴 木 政 信	52-0553	江戸川台東1～2
		茂 木 嘉十郎	52-3637	江戸川台東3～4
		吉 川 正 雄	52-8975	駒木台、青田
5	武 藤 52-5275	本 田 初五郎	52-1732	西初石1～3
		斎 藤 喜 久		西初石4～6
		前 田 近 徳	54-4186	若葉台、上新宿、南、谷、桐ヶ谷、上貝塚、下花輪、大畔
6	三 谷 52-8531	熊 谷 千 一	52-3603	東初石1～3
		植 草 実	52-8125	東初石4～6
		高 橋 久 市	54-3865	駒木、美田、十太夫
7	高 橋 58-0884	血 矢 茂 吉	58-1766	流山(全域)、平和台(全域)、中、前平井、後平井
		丹 羽 博	59-2865	三輪野山
		甲 田 実 義	59-2135	加
8	岡 村 55-0310	小 室 重 夫	45-9555	野々下(全域)、長崎(全域)、柴崎、古間木、市野谷
9	久下沼 59-8915	渡 辺 四 郎	58-5036	南流山(全域)、鱈ヶ崎、宮園(全域)、思井、木、西平井
10	鶴 丸 44-6427	遠 峰 茂	74-1455	向小金(全域)、前ヶ崎
		鳥羽田 てい	45-5497	松ヶ丘(全域)、西松ヶ丘、名都借



職群の活動風景

シルバー人材センター互助会役員名簿

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
会長	久下 沼 満	南流山1-18-3-303	59-8915	
副会長	犬養 吉 胤	江戸川台西1-47	54-6443	
理事	岩瀬 茂	東深井980-6	55-3525	
〃	高橋 忠 文	加1316-1	58-0884	
〃	合津 一	富士見台1-3-35	54-4841	
〃	杉山 義 弘	西初石3-3-11	52-4658	
〃	青木 長 子	駒木台410-26	52-8010	
監事	前田 近 徳	若葉台3-34	54-4186	
〃	牧野 秀 夫	十太夫100-6	55-2832	
会計	中山 百合子	センター事務員	55-3669	



互助会よりのお願い
 五月三十日発足した互助
 会会費未納の方は、事務処
 理上早目に事務局へ納めて
 下さい。
 研修旅行（二班）

編集後記

会報も数えて第九号になりま
 した。原稿をお寄せ下さった
 方々に紙面をお借りしてお礼
 申し上げます。

本年は女性理事を加え大幅な
 役員の改選、新に顧問を迎え、
 又事務局も新体制となりました。
 た。おかげさまで会員は増員
 され、事業計画も順調な業績
 を挙げております。この会
 報が会員相互の意思疎通を
 はかれる中身のあるものと致
 したく、ご協力をお願いしま
 す。

会報編集委員

- 委員長 久下 沼 満
- 副委員長 三谷 和夫
- 委員 犬養 吉胤
- 〃 青木 長子
- 〃 土田美緒子
- 〃 久保ハツミ
- 協力会 長 及川 正一
- 〃 副会長 麻生 修
- 〃 事務局長 増田 芳男